

あいめーる

平成 29 年 5 月 10 日発行 〒861-0551
 発行 熊本県山鹿市津留 2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com
 編集 広報チーム E-mail
 キャリービジョン ailinkan@magma.jp

SPRING

愛隣館通信

「熊本地震から 1 年、たくさんのご支援を本当にありがとうございました」



デイケア女性陣による「山鹿ドンパン節」

最後、副施設長の閉会の言葉で花見会は終了しましたが、まだ皆さん名残惜しそうにしています。

今年も心に残る素晴らしい花見会でした。



満開の桜の下、報道ステーションの富川アナと

四月四日（火）、地域福祉部ご利用者が愛隣倶楽部前庭、四月九日（日）、愛隣館入居の皆さんの花見会が食堂前中庭で開催されました。利用者、ご家族、スタッフ総勢二百名を超える大勢の参加者で賑いました。

開花が例年よりも遅くまだ三分咲き程でしたが、それを帳消しにするほどの快晴に恵まれ、最高の花見会になりました。

地域福祉部では、各部署の職員紹介があり、その後、ぴあワークご利用の麻生さんの乾杯の音頭で宴が始まりました。皆さんが楽しみにしていたカラオケでは、それぞれがお気に入りの曲を歌われ、最後に飛び入りでデイケア女性陣による「山鹿ドンパン節」を披露されました。

その後の抽選会では、準備していた景品に、各講師からの特別賞も加わり大抽選会が行われました。当選された皆さんの、満開の笑顔が印象的でした。

花見会

この1年に感謝を込めて

館長

三浦 貴子

地震から一年の四月十四日、十六日の夜は、何も無く朝が来ることを祈りました。一回忌を迎えられたご遺族、関係者の方々に、改めてお見舞い申し上げます。

十四日は、山鹿灯籠奉納団体の仲間と、倒壊した益城木山神宮を訪ね参拝しました。益城町の人々の心の拠りどころと伺う、この神社社殿を今夏、私達は伝統工芸宮造り灯籠で制作し、復興への後押しをしようと進めています。

木山仮設団地には、特製とんかつを届けました。一年前は避難所で、お母さんのおっぱい、支援の離乳食等で育ててきたお子さんたちが、とんかつにかぶりつく、たくましい成長です。

地震でただならぬご縁を頂いたと、益城の方々と笑い合うことがあります。お会いする度に懐かしさがあり、昔からの知り合いのようとお互いに感じています。

また、三月には、地震後初めて熊本県社会福祉審議会が開かれ、児童・障害・高齢・福祉政策関係各課の方々との意見交換をしました。情報共有と福祉分野の連携した対応に向け、昨年五月、六月にこの枠

組みで会議開催を希望したものの、皆支援の最前線にいて叶いませんでした。審議会後、担当課のヒアリングもあり、今後の課題として受け止めて頂きたいと思います。

この一年間、県外に行く様々な機会でも、身障協の皆様をまずはじめとするお会いしたすべての方々に、熊本への励ましを頂き、本当に勇気づけられました。先日、四月の九障協理事會を終え、翌日の内閣府障害者政策委員会に向け先に発つ時、見送って下さった施設長方から、熊本の復興を見守ってるメッセージが伝わり、ずっと変わらぬ支援の気持ちに支えられていると思いました。

一年間、本当にありがとうございました。

新人職員紹介



看護課

中尾 百合子

こんにちは、私は十一月七日より愛隣館にお世話になることになりました。今まで病院ではかり働いておりました。

若い時は何も考えず、病院で働いて自分なりに満足していました。年をとり始めていろんな事を考え、もう少し何か人の役に立てる事が出来ないだろ

うかと思いい隣館に入る事が出来ました。

まだわからない事がたくさんありますが、ひとつひとつ利用者の心の支えになり頼られるスタッフになりたいと思います。頑張っていきますので皆さんよろしくお願ひします。



食生活課

岡 真子

皆さんこんにちは、私は二十四年間この三岳で育ちました。縁あって愛隣館の厨房に仲間入りをはしました。

働き始めて七ヶ月、厨房の皆さんの笑顔、明るさに日々助けられております。まだ、仕事で分からない事がたくさんあって、皆さんにご迷惑をかけていますが、やさしく教えてもらい毎日楽しく仕事をしています。一日一日を大切に、皆さんと楽しい時間を共有できれば良いなと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



食生活課

田上 知子

こんにちは、昨年十月より愛隣館の厨房でお世話

になっております田上知子です。

長く勤めていた会社を辞め一大決心をし転職致しましたが、この職場を選び本当に良かったと、そしてこんな自分を雇っていただいた事を有り難く感じる日々です。

仕事ではまだまだ厨房の皆様にご迷惑をおかけするばかりですが、いつも優しく接して下さい感謝の毎日です。今は利用者の方のお名前や顔を覚え、元気な笑顔で迎えてくださる一日が始まる事が私の元気の源となっております。

人として本当に尊敬出来る方々や、愛にあふれる利用者の皆様に出会えた事は、私のこれからの財産だと思っています。本当にありがとうございます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

● 地域福祉部報告懇談会 ●

びあハウス 管理人 河津 実

三月八日(水)、愛隣倶楽部にて平成二十八年度地域福祉部報告懇談会が行われました。利用者三十七名、ご家族十一名、計四十八名の方が参加しました。

始めに、館長より挨拶があり、新しいサービスの制度、熊本地震災害支援活動の取り組みや、活動についての話をされました。その後、多機能型事業所愛隣倶楽部、生活介護事業所テイクア、ホームヘルプ、相談支援事業所、地域活動支援センターぴあ

びあ、就労移行支援事業所ぴあワーク、多機能型ホームぴあハウス、短期入所の各事業所から、平成二十八年度の事業報告がありました。

全体の質疑の後、テイクア、愛隣倶楽部に分かれて質疑応答に入りました。テイクアでは、今年の旅行は何処にするか、浴室の脱衣場を広くするための改修工事、その期間入浴を何処でするか等の話し合いが行われました。

愛隣倶楽部では、スタッフと利用者のご家族の方と共に、日中活動や日頃の自宅生活の話などが交わされました。



今年もご多忙な中、沢山のご家族の方に御参加頂きましたありがとうございます。

● 千代の園新酒まつり ●

ケア課

永田 万里

三月十二日(日)、山鹿市の千代の園で行われた新酒まつりに参加しました。

多くの方がこのまつりを心待ちにしていたようで、遠くは海外からお越しになる方もいらっしゃいました。

今回は、入居者の永田勝利さん、杉山伸一さんと参加しました。

お二人共できたての新酒を飲まれ、菊池川の眺めと共に楽しまれていました。

私は、今回初めて参加しましたが、春の訪れを感じる中、新酒の香りや喜ばれる姿を見ることができ楽しむことができました。

■ 第四十二回JA植木まつり ■

二月十八日(土)、熊本県農業公園カントリーパークにて開催されたJA植木まつりに行って来ました。

今回は、参加された三名の方にお話を伺いました。淵上年孝さん「今年で三回目の参加になります。会場は大勢のお客で賑っていました。趣味で園芸を楽しんでいます。気が落ち込んだ時には花や苗を弄っている時が一番落ち着きます。逆に手塩にか



けた花達が枯れた時は少し落ち込みます。これからも植木まつりに参加したいと思っています」

増田正代さん
「今回が初めての参加になりまして。見学の際にスタッフが介助に一人付いてくれ



たので、不便なく楽しく参加する事が出来ました。出店も多く充実していました。ここの芋干が美味しいのうわさで、色々と見て回りました。私はどちらかと言うと花より団子が目当てでした(笑)」

寺田タカ子さん「園芸が大好きで、材料が揃えば、館でも生け花をやっていきます。好きが高じて、毎年植木まつりには参加しています。今年は、木瓜(ぼけ)の苗を購入しました。この時期は寒いですが、ゆっくりの花を見る事が出来て楽しい時間を過ごせました」
ユミ共「楽しんで過ごすに感想を話してくれました。」

バレンタイン家族報告会

ケア課チーフ

徳丸 春美

二月十五日(水)、恒例のバレンタイン家族報告会を開催しました。毎年、週末開催でしたが諸事情により今年は平日開催でした。お仕事に差し支えなにか心配でしたが、おかげ様で三十七家族・五十一名のご家族に参加頂きありがとうございました。参加した職員ひとり一人、感想文を書き、改めてより良いサービスをしなくてはと思いました。

一職員の感想文を紹介します。

「離れて暮らしていても大切な家族であるという事が改めて意識づけられました。また、利用者のご家族と接する事で今後は、介助する度にご家族の顔が思い浮かび、尚一層の思いやりのある介護をしなければならぬ」と強く心に思いました」



熊本地震から一年

熊本地震から一年たった今、小嶺さん、増田さんは、緊急避難後、縁あって愛隣館の皆さんと新しい生活を送られています。お一人とも、地震による被害

害が大きかった地域からの避難で、大変な経験をされました。

あれから一年、お二人の今の気持ちをお聞きする事が出来ました。

小嶺さん「色々な事があつたけど、早く両親と一緒に暮らしたいです」



取材のテレ朝、富川アナとニコリ！

増田さん「この一年はあつと言う間でした。まだまだ不安な事は沢山ありますが、やっぱり家族と一緒に元の生活に戻りたいです」と当時の事を思い出しながら、心境を語ってくれました。

お知らせ

第十六回くまもと障がい者スポーツ大会が開催されます。
日時：平成二十九年五月二十一日(日)

場所：熊本県民総合運動公園陸上競技場

(えがお健康スタジアム)

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。